



日本リンホフクラブ会報

Japan Linhof Club (JLC)

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-39-14 株式会社ワイズクリエイイト内
TEL 03-5689-2776 FAX 03-5689-2786

日本リンホフクラブ会報制作委員会 (川太、北島、米澤、酒巻、事務局)

<http://www.linhof-club.com> info@linhof-club.com

VOL.11

2011年12月25日発行

理事改選のお知らせ

— 来年2012年4月21日(土)の総会にて新理事が誕生します —

日本リンホフクラブ規約(第17条)では理事の任期が3年と規定されています。従い、当クラブが発足して3年が終わる来年4月に現在の理事は全員改選されます(但し、重任を妨げず)。本年10月26日の理事会にて可決・承認された“日本リンホフクラブ 理事選挙規則”に従って以下の通り改選の手続きが進められます。当クラブの運営に直接参加し、その発展に貢献したいという方は是非立候補して下さい。

①理事に立候補する会員は、当会報11号に同封した「日本リンホフクラブ 理事選挙について」の“立候補届”に必要事項を記入し、100字以内の“立候補挨拶”と“半身写真”を添え、2012年1月31日(火)までに事務局へ郵送するか若しくは持参する。

②来年3月の総会開催通知に際し、立候補者の立候補挨拶と半身写真を掲載した“選挙公報”と“投票用紙”(2012年3月中旬発行の会報12号に同封)を送付する。

③立候補者が定員(14名)を上回った場合は、4月開催の総会にて選挙を実施し、その場で開票の上当選者を決定する。その際、総会に出席出来ない会員は郵送乃至ファクシミリにて投票が出来る(総会前日の午後5時迄に事務局必着)。

但し、立候補者が定員以内の場合は理事選挙規則第3条に従い、総会での承認を得たのち立候補者全員が無投票当選となります。

尚、当クラブの規約、理事選挙規則の詳細について知りたい方は、ホームページをご覧ください。

(<http://www.linhof-club.com>)

第2回「日本の輝ける風景」写真展開催 & オープニングパーティーご案内

「日本の輝ける風景」写真展が、来年も東京と京都の二会場で開催されます。今回は出展者が64名と増え、前回にも増して力作が揃いました。見応え十分と自負しています。出展していない方も是非会場へ足を運んでご覧下さい。百聞は一見に如かず、です。尚、東京展の初日に展示会場近くでオープニングパーティーを開きます。当クラブの指導写真家、雑誌編集者、プロラボ・写真機材メーカー担当者などにもご出席戴きます。普段あまり話をする機会が少ないプロとの絶好の交流機会ですので、こちらにも是非ご出席下さい。写真展に出展していない方もパーティーに参加出来ますので、事務局にお申込み下さい。



■日本の輝ける風景写真展

東京：ポートレートギャラリー(新宿区四谷)
2012年1月19日(木)～1月25日(水)
10:00～18:00(最終日は14:00)
京都：A' BOX GALLERY(京都市中京区)
2012年4月13日(金)～4月18日(水)
10:00～18:00

■オープニングパーティ

会場：四谷駅前サロン 写真展会場から徒歩3分
日時：2012年1月19日(木) 18:30～
会費：5,500円



春日大社の森撮影会 11.19sat.～20 sun. <<<

奈良“春日大社”の森での撮影会初日は激しい雨でした。関東地方から16名、地元関西の会員が7名、総勢23名が本降りの中撮影に臨みましたが、皆さん1時間程で切り上げて早々にホテルへ逆戻り。懇親会までの数時間、濡れたカメラや冠布、三脚などの機材を乾かす一方シャワーを浴びて一休み。飲み放題2時間の賑やかな懇親会の後、向林会員がパソコンに取り込んだ作品60数点を、わざわざ持参されたスクリーン、プロジェクターで鑑賞。2日目は幸いにも雨が止み、どんよりとした曇り空。再び三々五々春日大社の森で撮影に専念。11月下旬とはいえ割合暖かく、2日間に亘った撮影会はこうして無事に終了。回を重ねる毎に会員同志が打ち解けていくのが分り、和気あいあいの楽しくも有意義な撮影会でした。皆さんお疲れさま。



大判カメラ 4x5 に魅せられて

今から6年前の事、前橋市にある群馬県庁で中判カメラの個展があり見に行きました。展示されているものは群馬の風景写真でしたが、あまりにも美しく素晴らしい写真の数々に心を打たれ、感動し「私もいつか、人に感動を与えられるような写真を撮ってみたい」と夢に描くようになりました。

一昨年、近くの公民館で私の親友が講師として写真クラブを発足しました。私も即入会し、同年6月にニコンの一眼レフを購入し、クラブの仲間達と写真を撮りに出かけるようになりました。暫くして、講師が所属している別の写真クラブの写真展が開催されるのを知り、胸を躍らせながら写真展会場に向きました。講師は、4x5で撮影した全

紙の作品を4点出品していましたが、その写真を拝見した時の感動は一言では言い表せないほどの素敵な作品でした。木の葉っぱや草などが繊細に写しだされ、奥行き感があり、その写真に向かって一歩足を踏み出せば、写真の中に入ってしまいそうなほどリアルで素敵な写真でした。

それ以来、「私もいつかは4x5で撮影



若林美代子



でも親友である講師に指導を依頼し、少しずつですが使い方が理解できるようになり、自分の撮りたい被写体を探し、露出・ピント・構図を思考し、どのような写真になるか自分なりにイメージし、レリーズを押す瞬間がとても好きです。また、フィルムを現像に出し、素晴らしい映像が映し出された時は、至福の瞬間だと思います。自分も感動でき、たくさんの人々を感動させられるような写真を撮れる日が来ることを願いつつ、自分なりに挑戦し努力していきたいと思っております。

また、リンホフ購入2か月後に日本リンホフクラブに入会しました。勉強会や撮影旅行、プロ写真家による作品講評会など胸躍る企画が一杯なのに驚いております。素晴らしい企画と運営に携わっておられる日本リンホフクラブの役員の方々及びクラブ員の皆様方に心から感謝しております。これからも、日本リンホフクラブの一員として努力していきたいと考えております。初心者ですが、何とぞ宜しくお願い致します。（伊勢崎市在住）

してみたい」と考えるようになりました。今年の4月に、程度の良い中古のリンホフ・マスターテヒニカが出たとの情報が入り、迷わず購入を決意いたしました。初めてリンホフカメラを手にした時は、喜びで一杯でしたが、重くて難しいアオリの付いた大判カメラを使いこなせるだろうか考えると、喜びよりも不安の方が大きくなってきました。

て器具”(フレキシブルクランプ)を使用している。ただ、この場合の欠点は先端部分にゴム製の緩衝材を付けてもしっくりとはいかない事。ところが、最近この問題を解消してくれる新兵器が登場。名付けて「プレ止め君」。全長13cm×外径2cmのアルミ削り出し。先端部分にはゴム製のキャップ。それが内蔵されたスプリングの力で上下するので、適度な力でフォーカシングトラック若しくは直接レンズの鏡胴を支える事が出来る。これの使い勝手が極めていい。これを“傘立て器具”にはめ込みこんでネジ止めすれば

OK。これで、長焦点レンズ使用時の強力な味方が出現した事になり、今後は言い訳が効かなくなるかも。まだ持っていない人は、即ワイズクリエイイトに電話しましょう!

(清水 実 中野区在住)



日本大学芸術学部 江古田キャンパス 訪問記

僕が、江古田キャンパスに来たのはオープンキャンパスに続いて今回で2回目でした。2回とも訪問して感じたことは、本当に「写真を学ぶための学校」だなという事です。日芸には写真を学ぶための全てのものが揃っていると看做す過言ではないと思います。写真のデジタル化に合わせた最新鋭のMACパソコンや、きちんとキャリブレーションされたモニター、A3からB全まで

勉強会報告 07.23 sat. <<<

“オギシマ写真館”(東京都八王子市)のオーナーにして、日本写真文化協会(当クラブ写真展開催ギャラリー主)副会長である、**荻島孝之さん**に「ポートレート撮影について」と題して講演戴きました。

昔は、アンソニー(四切原板)にはじまり、八切、キャビネ、手札サイズのフィルムで撮っていたが、昨今はデジカメが殆ど。光源も、昔は北側の窓からの柔らかい光を利用していたが、次第に人口光源(マグネシューム、ストロボ)へと変わっていった。ポートレートの撮影は、ライティングが基本。「太陽は一つ」が大原則で、補助光が必要な場合は、主光源と同じサイドに置く。女性の場合は、(特に顔が)ほっそりと、そして若く見えるようにすれば気に入って貰える。その為のライティングとして、日本の写真館の80%

作品講評会報告 10.23 sat. <<<

本年最後の作品講評会は、ピンクの縞模様入りシャツの**大山謙一郎プロ**。夕方から京都へ出掛けるとかで、これまたピンク色の大きなカバンを持参。中からは、4x5のポジが数十点。講評の後に投影して拝見。コマーシャルや女性写真の第一人者だけあって撮影には工夫の数々。ネイチャー派にとって参考になるお話も。

《個々の作品に対して》

- ①水を撮る時、スローシャッターだと白く流れてしまう。早いシャッターを切って飛沫が分るようにするといい。ストロボを分らない程度に使う手もある。
- ②絞れば絞る程ピントがくるとは、必ずしも言えない。
- ③(画面に)濃淡がつかないと、写真は(“光

印刷できるプリンターなどのデジタル設備や、地下の暗室にあるベセラー引伸機(8x10が1台、4x5が30台)を初め、現像・停止・定着・水洗などの設備、そしてネガやRCプリントの乾燥機、大四切のみならず全紙・全倍までフラットニング出来る数台の(パライタ紙用)ドライマウントプレス、プリントを額装できる設備等々プロラボを遥かに凌駕するほどの豪華さでした。

キャンパスを案内して戴いた甲田先生のお話も、目からウロコの内容ばかり。

以上で採用しているのが、光を45°の角度から当てるレンブラントライティング。顔の真横から光を当てるスプリットライティングにすると、明るい顔の皮膚感が



強調され、ドラマチックで印象の強い表情になる。顔と手で見せる男性向きか。故秋山庄太郎プロの女性写真は、その殆どがライトを顔の正面でレンズより高い位置にするバタフライ(鼻の下にできる影が蝶の形に似ている)ライティングで撮られている。女性を優雅に見せられる

と影”と言うくらい)面白くない。
④P/Lフィルターをつけると若干色が濁るが、場合によっては使用も考えたい。
⑤4x5のネイチャーでも、(パンフォーカスばかりでなく)ボケを活用する事を考えた方が(写真の)幅が広がる。
⑥写真というのは、全部説明してしまうと面白くない部分がある。見る人をして想像させるところがあってもいい。
⑦(棚田の作品に対し)畦に麦わら帽をかぶり、長靴を履いた人を歩かせて撮ると面白い。
⑧光が当たっている部分は、(最初に目がいくので)中途半端ではいけない。レンズを変えるか、(余計な物を除けるために)接近するなどしないと・・・。

専門的に研究されているフィルムの知識やプリントの耐久性、プリンターとパソコンのイニシヤライズの方法など、実際に大学の講義を聞いているかのような密度の濃い貴重なお話でした。今後も甲田教授とお話することが出来る機会を是非とも作って欲しいです。

僕が2年後に受験する学校でもあるので、オープンキャンパスでは見られないような所まで見られて、江古田キャンパス訪問と甲田先生のお話はとても参考になりました。(吉成宏太 江戸川区在住)

特長がある。レンズの位置は、目の高さに合わせるのが基本。美しいポーズも重要。女性の場合は、腰の線を水平にするか、斜めにするかが基本。男性は、三角形を作る様にポーズした方が力強く見える。2本の足は並べずに、1本乃至1.5本に見せる事で細く然も綺麗に見える。目にキャッチライトを入れるようにする事も大切。女性は、キャッチライトを大きめ(黒目の1/5程度)に、逆に男性の場合は小さめ(黒目の1/4程度)にする。ハイライト部分とシャドー部分の照明比は、4:1若しくは3:1に収めないといけない。5絞り以内というフィルムの再現域による。

この方法で、皆さんもポートレートに挑戦してみてください。



《総評》

構図に関しては、皆さんしっかり撮っているのでこの調子で継続していったらいい。慣れてきたら、動く物を撮ってはどうか。動と静の組み合わせでネイチャーを撮るという事も考えて欲しい。また、風景写真であってもパンフォーカスばかりでなく、背景をボカす手法も使ってみてはどうか。絞りは、開放から2~3絞ったところ(f11、f16)が一番シャープとされている。f32とかf45まで絞ったのと撮り比べて欲しい。違いが分かる筈。

理事会や各委員会の活動状況が良く分らない、というご指摘を戴きました。そこで、今号から概要を掲載する事とします。

1. 理事会

理事会は、定例（3ヶ月おきの技術勉強会・作品講評会の後）開催に加え、検討事項が出て来た都度不定期に集まり（電子メールでの持ち回りを含む）、開催しています。検討した事項は以下の通りです。

4月…

- ①関西地区 Gr. より要望のあった支部結成について（小委員会にて支部規則案を作成する）
- ②基礎勉強会（会員増強を目的に新宿御苑にて開催）の進め方について

7月…

- ①（小委員会にて準備した）支部規則（案）を可決・承認
- ②理事選挙規則の制定について（小委員会にて原案作成する）
- ③新宿クラシックカメラ博への対応について（小委員会にて検討する）

10月…

- ①支部規則の修正について
- ②近畿支部設立承認
- ③理事改選の進め方について、理事選挙規則（案）を修正の上可決・承認
- ④各委員会の現況報告（奈良撮影会、第二回写真展、会員へのアンケート）

2. 各委員会

□撮影会委員会

- ①昨年 11 月の梅池撮影会の後直ぐに準備を開始し、奈良に決定
- ②本年 4 月下旬
- ③6 月参加者募集の案内状送付
- ④9 月再度募集案内送付

□写真展委員会

- ①本年 5 月第一回の反省会と東京展審査請求
- ②6 月第一回の収支報告と第二回の募集通知
- ③8 月広報体制と社会貢献活動について
- ④10 月作品選考 これに加え、（関西地区担当委員が）大阪・京都での開催に向け審査請求、開催時期等についての交渉、打合せなどを実施

□技術勉強会委員会

- ①技術勉強会のテーマ選定と講師依頼
- ②作品講評会のプロ写真家依頼等を実施
- ③勉強会当日の会場準備・片付け、作品掲示等

□会報委員会

- ①原稿・作品依頼 ②インタビュー要請 ③原稿整理
- ④ポジフィルムのスキャニング ⑤割り付け ⑥印刷
- ⑦発送作業等を都度実施

尚、蛇足ですが担当役員は、全て当クラブ発足当初からのボランティア精神（手弁当）で活動しています。

例会・基礎勉強会・撮影会

■定例会

《会場について》 公共会議室利用のため、開催日の一ヶ月前に決定致します。ホームページ等でご確認ください。

開催日	10:00~	13:00~	備考	参加費	会場
2012年1月14日(土)	技術勉強会・宇田川哲夫(会員)※1	作品講評会・講師：牛島博能※2	※1「山岳写真の魅力」 ※2 元日本カメラ編集長	3000円	湯島地域活動センター
4月21日(土)	総会	作品講評会・講師：近藤辰郎			
7月21日(土)	技術勉強会・知新 温※3	作品講評会・講師：花畑日尚	※3 オオリとボケの活用		
10月20日(土)	技術勉強会・会員担当	作品講評会・講師：佐々木秀人※4	※4 日本カメラ副編集長		
2013年1月19日(土)	技術勉強会・メーカー担当	作品講評会・講師：石橋睦美			

■基礎勉強会 『新宿御苑大判カメラ基礎勉強会』

- ❖開催日：2012年2月04日(土)、5月12日(土)、8月04日(土)、11月10日(土)
- ❖時間：10:00~13:00 ❖参加費：無料
- ❖集合：大木戸門 売店横休憩所 ※雨天中止



講評を video で撮影。1. 原板（ポジ）を送って→2. プロ写真家に講評→3. DVD に収録→4. 返却 ■作品点数 ポジ5点まで（ポジを入れているスリーブに1/5、2/5の様に番号とお名前を記入して下さい）。 ■費用 3,000円（ポジ及びDVDの送料を含む）事務局の銀行口座にポジ送付と同時に振り込み下さい。 ※期日迄にお振り込みが無い場合は、講評はできません。 ■送付 講評会1週間前迄に事務局宛お送り下さい。 ■返却 講評会後10日以内にお送りします。尚、作品の取り扱いは慎重に行いますが、万一の事故には責任を負いかねます。あらかじめご了承下さい。

お申込方法、ご注意

- ① 参加希望のイベントを選択してください。
- ② 日本リンホクラブ事務局に電話、ファックス、メール等で参加希望の旨をご連絡ください。
- ③ イベント当日は時間厳守でご参加ください。なお、勉強会・講評会参加費は当日徴収致します。撮影会参加費は指定期日迄にご納入ください。
- ④ 勉強会・講評会のキャンセル可能日は3日前までとし、以降は欠席の場合でも後日参加費を徴収させていただきます。
- ⑤ 撮影会のキャンセルにつきましては、日数により取り消し料が掛かります。催行日20~8日前30%、7~2日前40%、前日50%、当日、無連絡、旅行開始後は100%となります。



《編集後記》 当クラブが発足して3年目の師走です。会員も130名近くに増え、プロ・アマ問わず写真関係の人々にかなり知れ渡ってきました。嬉しいことです。作品講評時のコメント（掲載）のみならずプロから指摘された作品も合わせて掲示する方が、出席できない地方会員にとって参考になるとのご意見を戴きました。次号から対応していく予定です。作品を他人の目に晒して、批評して貰うのが上達の王道。作品が溜まったら、作品講評会前に事務局へお送り下さい。プロの講評がDVDになって返送されます。次回は1月14日です。

今年は、東日本大震災に始まり様々な災害に見舞われました。来年は、気軽に撮影に出掛けられる年になる事を願っています。皆さん良いお年を！（川太）